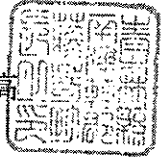




藤 建 第 185 号  
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 殿

藤崎町長 小田桐 智高



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記について、別紙のとおり回答します。

○平成 16, 17 年の豪雪、大規模な地震災害、集中豪雨による洪水被害等、災害に強い道づくりが急務と思われます。国、県、市町村が連携し、基幹道路とその代替となる路線の重点整備が、地域住民が安全・安心して生活していくうえで重要であります。

国道の整備は着々と進んでいることを実感しておりますが、それに接続する他の県道・市町村道の整備が追いつかないため、国道に車が集中するように思われます。国道の効率的な通行を確保するためにも、現在ある県道・市町村道の有効活用を図り、必要な整備を推進すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

青森県藤崎町

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

○隣接する工業団地の規模拡大により、当町を通過する交通量が大幅に増加し、朝夕の渋滞、町道への迂回車両の増加等の現象が起きている。

○老朽化してきている道路構造物、施設の維持管理・更新に要する費用の増大

○冬季除雪作業に係る経費が他建設事業を圧迫している。

○課題

○交通を分散させるためには、国・県・市町村道一体の整備が必要である。

○臨時地方道交付金事業、地方特定事業では広範囲にわたり、地方の課題に対応できる制度に改正されてきておりますが、地方財政の厳しい昨今では、益々の制度の拡充、充実が望まれる。

○除雪事業にかかる経費の助成制度の拡充を要望する。

当町は、津軽平野の交通の要衝に位置し、その地域的優位性を生かした町づくりを推し進めるべく各種施策に取り組んでいるところであります。

近年は、広域的な地域構造の変化が顕著であり、それらに対応すべく、国道 7 号を道路ネットワークの最重要路線ととらえ、計画的かつ調和の取れた土地利用のもと、市街地の整備、便利で安全な道路の確保を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

青森県藤崎町

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

| ○重点事項     | ○代表事例                   | ○期待する効果や評価等              | ○その他 |
|-----------|-------------------------|--------------------------|------|
| 雪に強い道路づくり | 消融雪溝整備による地域住民参加の除雪体制の確立 | 除雪作業の効率化、排雪経費の軽減、冬季交通の確保 |      |